

報道関係者各位



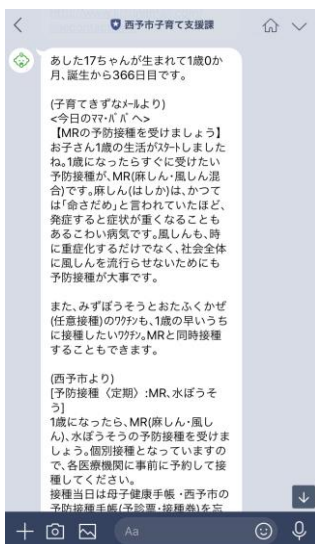
特定非営利活動法人

きずなメール・プロジェクト

愛媛県西予市にて「せいよ子育て応援 LINE」の配信を開始しました。

コンテンツ（原稿）による子育て支援、乳幼児虐待予防に取り組む NPO の活動

「きずなメール」コンテンツ（原稿）による孤育て予防を展開している NPO 法人きずなメール・プロジェクト（東京都杉並区）は 10 月 17 日より、愛媛県西予市にて「せいよ子育て応援 LINE」の配信を開始しました。



「きずなメール」は、妊産婦が出産予定日や赤ちゃんの誕生日を登録すると、妊娠週数や生後日数に応じて、毎日～月 2 回程度の頻度で、胎児の成長の様子や育児アドバイスを 300 字前後のテキストコンテンツとして届けるサービスです。。団体はこれを孤育て（孤独な子育て）の予防に役立てるため、主に自治体の子育て応援事業として展開しています。

西予市は、四国地方初の導入。

西予市子育て支援課の LINE アカウントと友達になると、きずなメールと一緒に、西予市の子育て支援情報や生活に役立つ情報を LINE で読む事ができます。

【西予市 菅家一夫市長からの応援メッセージ】

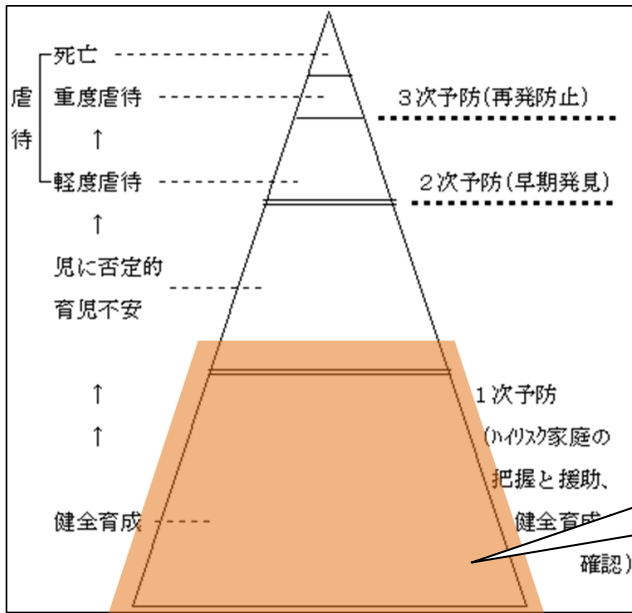


西予市では、LINE の配信サービスを活用し、市や医療機関が監修した子育て支援情報を提供する「せいよ子育て応援 LINE」を始めます。

市では、住む人が暮らして安心を体感できるふるさとづくりに取り組んでいるなかで、安心して子どもを産み、育ててほしいと願い、子育てに最適な環境整備を推進することにより、「子育てするなら西予市！」の実現を目指しています。

「せいよ子育て応援 LINE」を利用することで、妊娠や出産に関する悩みや不安を軽減し、楽しく子育てができる有益な情報を得ることができます。妊産婦の方やご家族に、マタニティ生活や出産、子育てについての身近な情報をお知らせすることで、本市で安心した子育てができるよう応援します。

団体では、自治体や医療機関と連携しながら、きずなメールを「日本中、だれでも無料で気軽に読める」形で展開していくほか、コンテンツ（原稿）による社会課題へのアプローチとして、乳幼児虐待の一次予防で活用する可能性をさらに研究していきます。



厚労省「子ども虐待対応の手引き / 第11章 関係機関との連携の実例 図11-4」

※「孤育て」とは？

夫や家族からの育児の協力が得られず、近くに助けをもらえる人もいない中で子育てをしている状態のこと。核家族化や男性の長時間労働などが背景にある。産後の女性の8-10人に1人がかかる可能性がある産後うつや、0歳児に最も多い虐待死の間接要因ともいわれている。

LINEで「きずなメール」のコンテンツを配信することで、乳幼児虐待一次予防の可能性を探っていく。

【プレスリリース・取材に関する お問い合わせ先】

NPO 法人きずなメール・プロジェクト 担当：増田ふみこ

電話 03-6317-5575

inquiry@kizuna-mail.jp

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北5丁目1-5-301